



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113

〒496-0036

代表TEL：(0567)26-3921

FAX：(0567)26-3922

ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

中庭作り / S・O・S

念願の中庭造成。  
5 年程前、訪問介護を利用し、「近くだから」と支払の度に事務所にも来訪されていた方から『もう庭の手入れができんようになった。楽しんでたこの庭も更地にしたいが、処分するのは嫌だ。植木と庭石を全部もらってくれないだろうか。』と相談を受け、有難くSOSの畑の隅に移動した。建物増築の度に2度移植したが幸いにも1本の本も枯れることはなかった。  
愛宕町を拠点として10年。念願となっていた中庭を造れるまでになりました。Mさんが大切にしてきた立派な庭石で“山と滝”を造り、子供達の興味を引き出す池を造り、歩行可能な方のみでなく、車イスの方にも散歩を楽しみ陽向ぼっこができる庭。石も木も、その存在感を十分に発揮して、その庭の中で遊び・集い・憩う。その時を迎えることができるように。本当に有難いことと感謝の気持ちでいっぱいです。今、Mさんが元気であるなら、是非見てもらいたい。(Y・I)



初心忘れるべからず / ナイス・デイ

思い起こした。ナイス・デイはちょうど10年前に始まった。利用者さんに『ナイス・デイは、“しごきの館”だ。』と命名されました。私たちは、利用者さんの身体を動かすことで気持ちも動かそうという考えのもと、いかに生活能力維持や社会参加の機会に繋げるか、細かいことといえば、実際に転んだらどう起き上がるか、美味しく食べたいのなら自分達の身体を動かして作ろうと“手打ちうどん作り”や“畑での作付け・収穫”等々をしました。お風呂に一緒に入り裸の付き合い・身体に変化はないか・ちゃんと温まったか等、肌と肌で確認したり……。もとより定員10名。当初から要介護度が重度の方や大勢のデイには馴染めないという方が大半。私たちは“お客様”とかしこまった捉え方もせず、とにかく一緒になって心豊かに過ごす時間を作りたいばかりだった。

この度の法改正。今まで通りの7時間提供では収益減。減収になるなら時間数を短くするか……。いやいや、7時間の今ですら帰りが遅くなってしまいう日がある。時間に振り回されるかもしれない。一生懸命関わられるのか？ 家族からは『もう少し早く迎えに/出来る限り遅く送って来て欲しい。』と要望が挙がることもある。

初心振返り、自分達の職場収益も守り、利用者さんと家族の満足も確保したい。利用料負担増も承知の上だ。管理者として、4月1日からのサービス提供時間を7時間20分と長くし、欲張ることを決意した。(A・H)

4月の利用状況と行事予定

ナイス・ケア(定員なし)  
…新規サービス大歓迎  
愛宕の家(定員17名)  
…入居者14名  
ナイス・ホーム(定員21名)  
…登録者16名  
つしま紹介所  
…求人者・求職者大歓迎  
ナイス・デイ(定員10名)

4月行事  
4月10日 外食DAY  
(お花見)  
14日 誕生会  
20日 避難訓練

日	月	火	水	木	金	土
5	6	8	5	9	7	9

上記の数字(人数)は定期利用者数)

(募集中 満員 お気軽に問合せ下さい)

手伝ってえ / ナイス・キッズ

週2回のゴミ出し。朝からボーっとしてたり、外で遊んでいる春休み中のキッズ達に『ちょっと手伝ってえ〜。』と、白羽の矢が当たった。こいつも男だと思った。「手伝って」と声を掛けてきた(SOSの中ではとっておきの可愛い)職員には優しいのだ。絶対に手伝う相手を選んどる(笑)

比較的軽いゴミ袋を両手に下げ、しっかりとゴミ出しの手伝いを終えた。年長者だった新5年生は3月末北海道へ引越し。もう居ない。新3年生が一番大きなお兄ちゃん。頑張れよ。(R・W)



増築棟OPEN / 愛宕の家

4月1日、新館がOPENした。2月、家族懇談会や随時意向を確認し、居室移動の希望を聞いていた。家族の希望だったり本人の希望だったり、いつ引っ越すか、そのタイミングがとても重要だった。

4日目だったか…、お風呂から出てきたところに『さあ、今から引っ越すよ。新しい部屋へ行くよ』と案内した。本人の前後でバタバタ移動する荷物と職員を眺めながら『忘れ物はないか?』と何度もチェックされた(笑)居室移動を素直に受け入れてもらえるか不安だったが、陽気に受け入れられたみたい。(よし!!)

引越しを目前にした3月下旬、体調を崩し、一瞬にして寝たきり昏睡に近い状態となっている96歳の方がいる。懇談会の時に聞いた、息子さんの『南側の陽当たりのいい部屋に住まわせてやりたい』の想いを受け止め、少し安定した時を見計らって、引越しを決行させてもらった。環境変化による状態変化が気になったが、翌朝も変わらず良い表情をして眠っていた。

OPENに合わせて、新しい入居者さんも4名。(当初6名の予定だったが、内2名は見合わせとなった)最初から入居室が賑わうのは本当にありがたいこと。新館では、新しいトイレの場所にもすぐ慣れた入居者さんとは対照的に、職員があっちに行ったり、こっちに行ったりとウロウロする始末。面会に来られたご家族も笑顔です。笑い声も聞こえ、時には怒った大きい声も聞こえる愛宕の家という一つ屋根の下で穏やかに過ごせるようにしたいものです。(笑) (T・Y)



目指せ! 地域密着小規模多機能 / ナイス・ホーム



3月26日14:10頃  
『えっ!!!』びっくり仰天するくらいの大勢が来訪。20名弱??? しかもスーツを着た男の方が一杯。見慣れない光景にも負けじと、「あんた良い男だねえ。まだ若いねえ」と利用者さんから一声あり。一瞬にして大爆笑の渦。

夕方、津島市の担当者さんより連絡あり。『津島市運営協議会の視察受け入れありがとうございました。協議の結果、4月1日登録者増は満場一致で承認されました。』と報告を受けた。(やったあ〜)4月1日より登録定員21名に変更となりました。近い(?)将来は、25名登録定員が目標ですよ。勝手に想像しているだけですが、津島市で小学校区に1件の小規模多機能事業所があったらどんなに素敵なことだろう。きっと、安心して自宅で過ごせる人が多くなる。今は、ナイス・ホーム1カ所。他の事業所が立上げたくなるような手本になりたい。(Y・O)

この機会に見直しを / ナイス・ケア

改正点の主“生活援助時間の区切り”について。時間の捉え方がこれまでとガラリと変わり、理解するまでに一苦労しました。3月下旬、制度改正及び重要事項説明書の記載内容と合わせて、変更になった生活援助の時間区分の資料をもとに管理者から説明を受けました。利用者さん目線。事業所目線。考える立場によって損得は異なる。当たり前のことでした。重要なのは、介護保険利用は自立支援のための制度。訪問介護のサービス内容もしかり。

利用時間数を最大にして沢山のことを提供できる便利屋さんになってもならず、法令上の最短時間数に抑えてさっさと手伝ってしまえば良いのもでもない。自宅で安心して生活するために、自立支援のための援助でなければいけない。誰に対してもその姿勢を崩さず公平でなければいけないと改めて気づきました。この機会に、サービス提供責任者がケアマネさんや利用者さんと連絡を取り、サービス内容の見直しをしていました。それにしても、私達も利用者さん達も30分の区切りが一番分かり易かったのに…。(A・M)

営業はまだですが…お知らせまで / 喫茶フロア

津島市保健所への申請及び営業許可がまだなので(法人登記に喫茶店の営業がなかったので急遽登記する手続きから開始。時間がかかりますねえ。)正式なお披露目は出来ませんが、ちょっと様子を見せちゃおう  
お近くにお寄りの際にOPENしていただたらご利用下さいな。(Y・I)



あとがき

3月末、予定より少し早く元気な男の子を出産したスタッフは産休に入り、4月からは育休明けのスタッフが復帰。職員の子供達も入学・進級と話題の尽きないS・O・Sです。新しい利用者さんとの出会いもあり、まさに「出会いの春」を感じる日々。そんな中、あるお宅で「もう長いお付き合い。顔見知りの皆さんがいることで本人も家族も安心できます」という言葉を受けた。その時、嬉しいと思うと同時に12年間に渡り、この職に就くいちスタッフとして責任や重みも感じました。継続は力なり? 頑張ろう。(A・M)